

第176回国会（臨時国会）開会

菅総理 所信表明演説。先送り一掃を宣言

衆参の本会議が10月1日開かれ、菅直人総理（代表）が所信表明しました。菅総理は、『有言実行内閣』の出発。何を実行するのか」と切り出し、先送りされてきた重要政策課題の実行と強調、閉塞感に包まれた日本社会の現状打破へ、先送り一掃を宣言しました。

さらに、「経済成長」、「財政健全化」、「社会保障改革」の一体的実現、その前提としての「地域主権改革の推進」、「主体的な外交の展開」の五つを課題として挙げ、以下のように取り組むと説明しました。

「経済成長」では「供給者本位から消費者目線に転換することが必要」とし、加えて政府が先頭に立って雇用を増やすとしました。

「財政健全化」では、このままでは財政は持続できなくなるとして、「2015年度までに、基礎的財政収支の赤字を対GDP

P比で今年度の半分、2020年度までに黒字化を達成する。大変高い目標だが、成長と雇用拡大を実現しながら、一歩ずつ達成を目指す」としました。

「社会保障改革」では、「全体像について、必要とされるサービスの水準・内容を含め、国民にわかりやすい選択肢を提示する」としました。さらに、財源について、消費税を含め税制全体の議論を進めるとして、与野党での議論が不可欠だと述べました。

また、この国会で次世代への責任を果たすことができる、国会が具体的な政策を作り上げる「政策の国会」となることを期待、議論を深める「熟議の国会」にしていくよう努めると表明しました。



水俣病未認定患者の救済に向けて



10月9日、松本龍環境大臣が熊本県水俣市を訪れ、特別措置法に基づく水俣病未認定患者の救済制度などについて、蒲島邦夫熊本知事らと意見交換しました。

この意見交換に先立ち、水俣湾の埋立地にある慰霊の碑に

献花をされ、水俣病資料館などを視察されました。

長年、この問題に取り組んでいる大島九州男参議院議員も、急遽熊本に入り松本大臣と同席をさせて頂きました。

救済制度で10月1日から一時金210万円の支給が始まりましたが、大島九州男議員は「これからが本当の患者救済です。患者の皆さんの思いの通ずる対策を大臣と一緒に考えて実行させて頂く」と意欲的に語っています。

参議院重要事項調査団

大島九州男議員は、9月16日から1週間、参議院の重要事項調査団2班の団長として渡米しました。

今回の調査は、司法制度特に犯罪防止対策や取調べの可視化について先進国のアメリカの実情を調査しました。

日本でも冤罪防止や取調べの不透明さから全面可視化の問題が取りざされています。実際に行っている警察当局で、貴重な体験と話を聞くことができました。

また、性犯罪者や悪質な犯罪者の再犯防止のための行動監視システムなど、犯罪防止のシステムを学ぶことができました。



左の写真は10月1日参議院本会議が始まる前の民主党・新緑風会の議員総会。本会議の方針を岡田民主党幹事長が説明

行政監視委員会
筆頭理事に就任

10月1日に召集された第176回臨時会より、大島九州男参議院議員は、行政監視委員会筆頭理事、文教科科学委員会委員、政府開発援助に関する特別委員会委員を拝命しました。

これからの国会運営において、行政監視委員会としては、今回の検察の問題他いろいろな角度から審議する重要な位置づけになります。

大島九州男議員は、「しっかりと務めさせていただきながら、様々な経験を積み今後の糧にして参りたい」と気持ちを新たにしております。

ご案内

参議院議員 大島九州男 君を囲む会

大島九州男を支えてくださる皆さま方との絆を深め、大島九州男のさらなる飛躍を期して標記の会を開催させて頂きます。皆さまのご参加・ご来場を申し上げます。 発起人一同

- 日時 平成22年11月11日(木) ■講演会 18時 ■懇親会 19時
- 会場 ルポール麹町 東京都千代田区平河町2-4-3
- 会費 10,000円

講演会 講師；環境大臣内閣府特命担当大臣（防災担当）

衆議院議員 松本 龍 氏

(都合により講師変更の場合がございます)